

事業実施結果報告書

令和7年度 ゆうごうセミナー（紫波町立紫波第一中学校1学年）

1 目的

地域で活躍するいろいろな分野の指導者と交流し、様々な活動について体験的に学ぶことで、地域の良さと地域との繋がりを感ずることで、参加した生徒の地域愛を育む。

2 対象

紫波町立紫波第一中学校 1学年 204名

3 内容

○ 紫波一中ゆうごうセミナー 生徒説明会

日時：令和7年7月7日（月） 10時30分～12時

会場：紫波第一中学校 体育館

講師：紫波町教育委員会 生涯学習課 社会教育指導員 佐々木 勉



内容：令和6年度紫波一中ゆうごうセミナーの実施概要の説明と今年度の講座案（23講座）について、以下パワーポイント資料及び配布資料をもとに説明を行った。

① 秋祭りの舞台裏を体験しよう



秋祭り開催前日に各山車小屋を巡り、山車に関する基本的な知識を学びながら、山車運行に関わる方々の様々な思いを受け止めることで、自分たちの地域の祭りを見つめ直す機会としよう

⑳ 自転車競技の中心地紫波町での取り組みを学ぼう



岩手県自転車競技の中心地紫波町。その中心地である自転車競技場で、様々な体験と、自転車競技に関わる人々と触れながら、自転車競技の魅力を楽しもう

○ 紫波一中ゆうごうセミナー 講師交涉及び依頼の概要（7月8日～8月8日）

- ・説明会後の生徒の希望を受け、事前に了承を得た講師と具体的な内容について、社会教育指導員が講師交渉を行う。

令和7年度 紫波第一中学校 1学年ゆうごうセミナー 主な内容

NO	講座	講師	会場	主な内容
1	秋祭りの舞台裏を体験しよう	大野 恭裕	秋祭り山車小屋	秋祭り開催前日に各山車小屋を巡り、山車に関する基本的なり知識を学びながら、山車運行に関わる方々の様々な思いを受け止めることで、自分たちの地域の祭りを見つめ直す機会としよう
2	伝統芸能平沢鹿子踊りを体験しよう	藤尾 政弘	紫波一中小体育館	赤石で継承されている「平沢鹿子踊り」の踊りや太鼓、衣装の着付け体験をしながら、伝統芸能を継承していこうとする地域の方々の想いに触れることで、伝統芸能について興味関心を高めよう
3	「講談」を体験しよう	岡村 日出子	古館公民館	日本の伝統的語芸の一つ「講談」について理解を深め、自分の「張り扇」を作成したり、講談を体験したりすることで、奥深い「講談」の真髄を体験しよう
4	酒蔵を巡り、酒かすスイーツをつくろう	及川 麻実 月の輪酒造	古館公民館 実習室 月の輪酒造	紫波町は5つも酒蔵があります。酒かすの本当の効果を「酒かすスイーツ」を作り食することで体験的に学びます。さらに、「月の輪酒蔵」を訪問し、酒造りも学びます。
5	MYカップを作ろう	村木 茂 南部美夜之窯 岩泉焼	紫波一中	自分オリジナル「MYカップ」を制作する体験を通して、陶芸にかける職人の姿勢から、一つの技を追求する大切さを学びます。
6	フォトフレームをつくろう	八重樫 慎	八重樫建具	八重樫建具店4代目として、代々「職人技」を継承しながらも、新たな挑戦を続ける「職人」の姿勢に触れながら、自分の「フォトフレーム」を作成しよう
7	藍染オリジナルハンカチをつくろう	根子 精郎	ねこの染物屋	江戸時代から続く、灰汁発酵建てによる本藍染の技法でつくる「藍染オリジナルハンカチ」を、自分の感性で作りながら、職人として生きる姿勢を学ぼう
8	伝統工芸「木目込み人形」をつくる	佐々木 房子	紫波一中	江戸時代中期、京都の上賀茂神社発祥の伝統工芸「木目込み人形」で、来年の干支「馬」を制作する体験を通し、様々な習い事から「職人」となり活躍する人生観を学ぼう
9	いわて発マープルアート体験	坂野 由美	紫波一中	いわて盛岡発祥の「マープルアート」は、現代アートとして地位を築いています。創立当初から関わり、県内外で活躍している講師から、マープルアートにかけた想いを学ぼう
10	タイルアートでデザインしよう	久慈 達也 (タイル工房kuji)	紫波一中	タイルをアートに進化させた「タイル工房kuji」さんから、様々なタイルを使って「自分オリジナル」の作品づくりを学びながら、職業からアートへ結びつける発想のすばらしさを学ぼう
11	がんづぎを作ろう	細川 玲子	紫波一中 家庭科室	平成9年岩手県食の匠に認定され、現在も様々なところで活躍している講師から「がんづぎ」など、伝統食づくり体験を通して食文化を継承する意義を感じよう
12	樋爪館の歴史を探ろう	箱崎 勝之	樋爪館 (箱清水公民館集合)	赤石小学校近辺、中世(1100年頃～)に栄えた樋爪館や五郎沼の歴史を学び、平泉文化との繋がりを学ぼう
13	赤石神社の歴史を探ろう	田村 寛仁	志賀理和氣神社 (赤石神社)	赤石神社(志賀理和氣神社)は、延暦23年(804年)に坂上田村麻呂が東北開拓の守護神としたのが始まりとされています。新しい社殿も見学しよう
14	日詰駅の歴史を探ろう	長澤 聖浩	日詰駅	日詰駅はなぜ「赤石地区」にあるのか。日詰駅の歴史をひもとくことで、近世の日本の歴史を自分の目で確かめよう
15	高水寺城(城山)の歴史を探ろう	石 畑 信	走湯神社	神護景雲2年(768年)に建立の伝説から、室町時代足利尊氏が奥州管領として派遣したことから「高水寺城」と名乗りました。天正16年(1588年)に落城し、斯波氏は滅亡しましたが、一時南部氏が「盛岡城」移転前の居城とするなど、様々な歴史に彩られています
16	紫波の先人、ゆかりの地を巡ろう	内城 弘隆	勝源院集合	紫波の先人ゆかりの地を内城先生と巡る素晴らしいコースです。お話や文献だけでなく、先人の足跡をたどりながら先人の想いを見つめ直そう
17	発掘現場を見学し、発掘体験をしよう	鈴木 賢治	桜町高木 (中華料理Jiu近辺)	発掘現場で、実際の発掘体験も行いながら「発掘作業」の大切さや意義を学ぼう。そして、体験から「土器」など昔の人が居住していたことを体験的に学ぼう
18	陣ヶ岡・蜂神社の歴史を探ろう	庄内 正昭 山崎 純醒 門ノ沢邦夫	蜂神社付近	伝説上では日本武尊からはじまり、中世では源頼朝など有名な武将が陣をはりいくさの拠点とすれば負けない地として有名である。長い歴史を紐解きながら、この地を守っている人々の想いに触れよう
19	オガールエリアの活性化を目ざして	オガール企画	オガールエリア	官民共同で新しいまちづくりを行い、全国的にも有名となったオガールエリアをさらに活性化させるために活躍している、人々の想いや願いを学ぼう
20	紫波町立図書館の役割と多様な取組	天野咲耶	紫波町立図書館	紫波町立図書館長となった天野さんのこれまでの人生観にふれながら、紫波町立図書館に働く人々との交流から、多くのことを学ぼう
21	誰でも集う「地域社屋」「地域社食」	くらしすた不動産	ツバメ倉庫	新しい働き方を提案する「くらしすた不動産」の「地域社屋」「地域社食」の考え方を学び、ツバメ倉庫に集う方々からも、これからの働き方について学ぼう
22	スポーツを通じた地域交流の拠点を目標して	紫波町生涯学習課	「ワイズマンスポーツベース紫波」	今年完成した「ワイズマンスポーツベース紫波」を訪問し、スポーツを通じた「地域交流」の考え方を学び、これからのスポーツ施設のあり方を学ぼう
23	自転車競技の中心地紫波町の取り組みを学ぼう	岩手県自転車競技連盟	紫波町営自転車競技場	岩手県自転車競技の中心地紫波町。その中心地である自転車競技場で、様々な体験と、自転車競技に関わる人々と触れながら、自転車競技の魅力を満喫しよう

- 紫波一中ゆうごうセミナー 講師交渉及び依頼の概要（7月8日～8月8日）
 - ・説明会後の生徒の希望を受け、事前に了承を得た講師と具体的な内容について、社会教育指導員が講師交渉を行う。中学校では、以下の
 - ・生徒の参加希望調整後、紫波第一中学校長からの令和7年8月8日付講師依頼文書を配布

○ 全体事前学習会

第一回：令和7年8月22日（金） 13時40分～14時30分

第二回：令和7年8月26日（火） 13時40分～14時30分



内容：講座毎のグループに分かれ、講座内容についての事前調べ学習や、当日の役割分担、質問事項等について話し合いを行った。

○ 紫波一中ゆうごうセミナー

日時：令和7年9月4日（木）8時30分～12時30分

場所：紫波第一中学校、古館公民館、他紫波町内体験活動場所

講座数：21講座

(1) 講座一覧と主な内容

No.	講座名	講師	会場	人数	主な内容
1	秋祭りの舞台裏を体験しよう	大野 恭裕	秋祭り山車小屋（日詰町内）	16	日詰秋祭りの4つの山車小屋を巡り、祭典準備に係る活動を、山車づくりを通して体験的に学ぶことができた
2	「講談」を体験しよう	岡村 日出子	古館公民館和室	5	講談で使う「はりせん」を作成し、紫波町の歴史に関する「講談」を練習し発表した。
3	酒蔵を巡り、酒かすケーキをつくる	及川 麻実 (有)月の輪酒造	古館公民館月の輪酒造蔵	15	杜氏から酒かすの効用について学び、及川講師の指導で酒かすを活用したお菓子をつくり試食した
4	MY カップを作ろう	村木 茂	紫波一中 図工室	10	南部美濃焼（陶芸）を行っている講師から、陶芸の基本を学び、オリジナルのマグカップを作成した
5	フォトフレームをつくろう	八重樫 慎	八重樫建具	10	建具を制作している講師から基本的な工程について学び、フォトフレーム制作体験ができた

6	藍染オリジナルハンカチをつくらう	根子 精郎	根子の染物屋工房	10	藍染づくりを体験することで、藍染の歴史を学ぶ
7	"伝統工芸「木目込み人形」	佐々木 房子	紫波一中 1年教室	6	伝統工芸について理解し、木目込み人形制作を体験する
8	いわて発マープルアート体験	坂野 由美	紫波一中	10	岩手で生まれたマープルアート制作を体験する
9	タイルアートでデザインしよう	久慈 慎也	紫波一中 1年教室	6	タイルでオリジナルフレームづくりを体験する
10	がんづきを作ろう	細川 玲子	紫波一中 調理室	10	郷土料理のきりせんしょと、がんづきを作り試食
11	樋爪館の歴史を探ろう	箱崎 勝之	樋爪館跡付近	5	中世に栄えた樋爪館の歴史を学び、平泉文化との繋がりを学ぼう
12	日詰駅の歴史を探ろう	長澤 聖浩	日詰駅周辺	6	日詰駅が置かれた歴史的背景と、周辺地域の歴史を探ろう
13	紫波の先人、ゆかりの地を巡ろう	内城 弘隆	日詰地区先人ゆかりの地	15	巽聖歌・橋本善太など紫波の先人ゆかりの地を巡る先人学習
14	発掘現場を見学し、発掘体験をしよう	鈴木 賢治	紫波町桜町高木発掘現場	20	赤石小発掘現場での発掘体験を通して、歴史を体験的に学ぶ
15	オガールエリアの活性化を目ざして	オガール企画	オガールエリア	10	官民共同のまちづくりの実践内容を体験的に学ぶ
16	紫波町立図書館の役割と多様な取組	天野 咲耶	紫波町立図書館	10	紫波町図書館の多様な取組を理解し、その役割を学ぶ
17	陣ヶ岡・蜂神社の歴史を探ろう	生内 正昭 山崎 純醒 門ノ沢 邦夫	蜂神社付近	6	陣ヶ岡・蜂神社近辺を巡り、古代～中世の歴史を体験的に学ぶ
18	誰でも集う「地域社屋」 「地域社食」	(株)くらしすた不動産	つばめ倉庫	5	様々な業種が集う地域社屋・地域社食を進める新たな働き方について体験的に学ぶ
19	スポーツを通じた地域交流の拠点を目指して	紫波町地域づくり課	「ワイズマンスポーツベース紫波」	10	今年完成した「ワイズマンスポーツベース紫波」を訪問し、スポーツを通じた「地域交流」の考え方を学ぶ
20	自転車競技の中心地紫波町での取り組みを学ぼう	岩手県自転車競技連盟	紫波町営自転車競技場	10	岩手県自転車競技の中心地紫波町。その中心地である自転車競技場で、様々な体験と、自転車競技に関わる人々と触れながら、自転車競技の魅力を満喫しよう

ゆうごうセミナー各講座の活動写真（一部）





○ 中間発表会

令和7年2月2日（金） 10時40分～12時30分 紫波一中1学年教室



内容：中間発表として、小グループ（5～7人）に分かれ、他のグループに発表した。発表後はグループ内で評価しあい、次の発表会にむけて修正箇所等を話し合った。また、ゆうごうセミナー講師にも参観を呼びかけ、「講談」を担当した岡村講師が参観した

○ ゆうごうセミナー発表会（授業参観日）

令和7年11月13日（木） 13時40分～14時30分 紫波一中1学年教室



内容：中間発表と同様、小グループ（5～7人）に分かれ、他のグループに発表した。授業参観日であったため、保護者にも学んだ成果を発表する機会となった。ゆうごうセミナー講師にも参観を呼びかけ、「マールアート」坂野講師と「木目込み人形」佐々木講師が参観した。

4 成果と課題（次年度に向けて）

（1） 成果

- ・昨年度大幅な講師変更を行い成果が顕著であったことから、講師については大きく変更は行わなかった。（20講座中新規講座3講座）ただし、今年度新たな施設「ワイズマンスポーツベース紫波」ができたことを契機に「自転車競技場」を加え運動関係に関わる内容を充実させたことにより、生徒の幅広い興味関心に対応できた。
- ・昨年度から「歴史フィールドワーク」を統合し、生徒の幅広い学習ニーズに対応できたとともに、2回に分けて行わず1度で実施したため、生徒が計画づくりやまとめの時間を十分とることができた。生徒の歴史に関する希望が多いため、次年度以降も同様の形で進めたい。
- ・全体事前研修が充実したことにより、生徒の講座選択がスムーズであり、昨年度以上に目的意識をしっかりと持つことができた
- ・今年度発表方法を、全員が体育館に集合し発表会を行う方法から、教室に分散し、小グループでの発表形式とした。グループ内の限られた数の発表となったが、コンパクトな発表形態であり、他のグループの活動内容を十分理解することができた。また、保護者授業参観と併せて行ったことや講師にも案内をしたことにより、幅広い方に発表することができた

（2） 課題

- ・昨年度同様「ゆうごうセミナー」と「郷土史学習フィールドワーク」を併せて実施したことにより大きな成果もあった反面、教職員が一人で2事業以上を担当する場合があります、講師対応が十分行き届かない講座もあった。様々な事故への対応も含め、保護者や支援ボランティアの配置なども検討し、安心安全な運営も検討したい。
- ・移動時のバス台数が不足しピストン輸送を行ったため、予定時間通りにバスが運行できず、講座の時間が短くなることもあった。今後バスを利用しないで実施できる講座を検討していくことも必要である。